

## 会 議 録

|                    |   |                           |    |
|--------------------|---|---------------------------|----|
| 会議名                | 平成18年度 第4回 相模原市行政評価検討委員会                                |                           |    |
| 事務局                | 企画部 企画政策課 都市経営ビジョン推進室                                   |                           |    |
| 開催日時               | 平成18年12月4日（月曜日）19時から21時15分まで                            |                           |    |
| 開催場所               | 市役所本庁舎2階第1特別会議室   |                           |    |
| 出席者                | 委員  | 4人（吉田（民）委員、西本委員、出沼委員、西委員） |    |
|                    | その他   | 0人                        |    |
|                    | 事務局   | 3人（都市経営ビジョン推進室長 外2人）      |    |
| 公開の可否              | 公開可   | 傍聴者数                      | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | /   |                           |    |
| 会議次第               | 1 座長あいさつ<br>2 議題<br>平成18年度施策評価における3次評価の進め方について<br>3 その他 |                           |    |

### 【審議経過】

主な内容は次のとおり。

- 1 座長あいさつ（吉田民雄委員）
  - ・ 傍聴者の有無の確認 なし
- 2 議題
 

平成18年度施策評価における3次評価の進め方について

【ヒアリング対象事案の抽出について】

○「H18 施策評価ヒアリング対象（案）」に基づき、事務局説明。（28 施策）

【ヒアリングスケジュールの検討について】

○ヒアリングの視点や方法など今後の進め方について検討。

以下、主な意見、質疑応答等（○は委員の発言、●は事務局の発言）

○指標の適正化や評価の甘さを指摘するだけの視点でなく、構成事務事業の内容に踏み込めるような指摘ができるといいのではないか。

○ヒアリングの重点の置き方をどこにするか。指標や目標値など評価自体を正確なものにしていくのか。或いは、施策の内容（構成事務事業のあり方、優先順位など）にまで踏み込んで行うのか。

●どちらも含んだヒアリング対象案を提示している。

○全体的な印象として、設定されている指標が市民の目線に立っていない。

○難しいと思うが、アウトカム指標について更に検討が必要である。

○行政活動の場合、市民の見方が、置かれている立場により、逆の見方ができてしまうところが難しい。→こもればの森（①環境対策②防犯対策）

○施策の目的と指標・評価がアンマッチである。

○市民満足度の評価については、市民生活に直接関連する部分は低くなる傾向があるため、今後検討が必要ではないか。

【以下、個別事案について】

○「24210 良好な住環境の創造」条例制定されているが、多くの市民は知らない。行政のPR不足ではないか。

○条例制定したのであれば、少なくとも「最終的にいつまでに何をいくつ作る」などの指標を入れておく必要がある。

○「33110 総合交通体系の確立」社会実験導入前にシミュレーションすべきでは。シミュレーションである程度の結果がでるのでは。

●市民等を交えたワークショップを作って施策を推進してきた。また、国の補助事業のため、進捗状況については、制限を受ける。

○「34210 都市の自立性の強化」研究機関などの誘致が必要ではないか。

○「36110 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進」自治体コールセンターのあり方については、予算の適正化と市民と行政との距離の問題があると思うが。

○市民の声をどう改善につなげるか。それを示せるような指標があれば、本施策の有効性が上がると考えていいのでは。

○「36130 行政事務の情報化の推進」効率化を示す指標は、人員削減ではないか。他には、行政サービスの向上やレスポンスの向上などが成果ではないか。

【ヒアリング実施に向けて】

○ヒアリング対象課へ当委員会の意見のフィードバックと今後の対策について検討を依頼すること。

○ヒアリング対象抽出の視点としては、①指標・目標値等が不適の事案、②構成事務事業や優先順位等が不適の事案を2つの視点で抽出すること。

○ヒアリング実施は、全員で行い、概ね3時間×2日とした。

## 【決定事項】

- 委員会としてのヒアリング対象事案抽出の視点は以下の2点とした。
- ・1点目は、指標や目標値の見直しなど、評価をより実効性のあるものにするための視点。
  - ・2点目は、構成事務事業の適正な配分や優先順位の見直しなどにより施策自体の見直しにつながるような視点。
- 事務局案の28施策をベースに委員会の視点を加味して再度20程度の施策に絞って担当課に対するヒアリングを実施することとした。
- 3次評価の実施は、ヒアリング対象施策のみに行うこととした。
- ヒアリング実施にあたっては、午後6時から午後9時の予定で、1月末までに2回程度実施し、委員全員で行うこととした。
- ヒアリングの日程については、事務局より各委員の都合を聞き、最大公約数の日で開催することとする。（ヒアリング結果の取りまとめを行う日も別途必要となる。

### 相模原市行政評価検討委員会委員名簿

| 氏名    | 所属団体等        | 出欠 |
|-------|--------------|----|
| 吉田 民雄 | 東海大学教授       | 出  |
| 吉田 修一 | 相模原商工会議所     | 欠  |
| 遠藤 咲也 | 相模原商工会議所     | 欠  |
| 西本 敬  | 相模原市ボランティア協会 | 出  |
| 出沼 聡  | 公募委員         | 出  |
| 西 秀秋  | 公募委員         | 出  |